

産業建設
常任委員会

委員長 秋永 安次

●議第89号 財産の取得につき議決を求めることについて

ごみ処理施設整備事業にかかる用地を取得することについて、議会の議決を求めるもの。

問 遊水機能を持つ当該地に盛土をして建設することになれば、下流へのリスクが増すのではないか。また、当該地の浸水想定も高くなるのではないか。

答 河川の安全性については、河川管理者である滋賀県に対し、安曇川上流部の浚渫や堤防のかさ上げなど適切な河川整備をお願いしています。

また、浸水想定については、現状とさほど変わらないというのが今の見解です。

問 浸水することを想定した案であるが、盛土部分ほどの程度耐えられるのか。

答 現時点では、技術的な知識を持ち合わせていません。設計する段階において、対応策を考えます。

問 地球温暖化により、今後洪水リスクなど危険性は今以上に高くなるというデータがある。10年確率の降雨量を乗り越えられたらよいというものではないが、見解はどうか。

答 造成案は、200年確率の降雨量を想定して作成したものです。施設を整備するにあたっては、安全安心という部分を十分考えて実施します。

問 建設スケジュールがずれ込み、合併特例債が受けられなくなれば、どのような影響がどうか。また、現在可燃ごみについては、新施設が整備されるまでの間との条件で、他市に処理をお願いしているが、そちらへの影響はどうか。

答 利率、交付税算入で有利な合併特例債が受けられなくなれば、次に考えられるのは一般廃棄物事業債ですが、合併特例債を受ける場合より市の負担は大きくなります。また、毎年、施設整備の進捗確認をされていることから、施設整備が遅れたときには、ごみの搬入を認めていただけるとはわかりません。

問 造成・盛土以外の工法（橋脚のような形での施設整備など）で検討することもあるのか。

答 コスト面を考えると、造成・盛土ということになるが、安全面の不安を払拭できないということであれば、コストがかかっても安全の方を

とりたいと考えています。
採決の結果 「賛成少数」で否決すべきもの

このほか、議第88号、議第99号、議第100号の3議案は、いずれも「可決すべきもの」として決定しました。

委員長報告より

議第88号の審査に際し、福井節子副委員長が指定管理候補者ならびに関係者に対する不適切発言をされたことについて、本人から深い反省と謝罪、発言の取り消し申し出があったため、これを認めました。また、今後こうした発言がないよう、本職から強く指導もいたしました。

本会議での討論

議第89号 財産の取得につき議決を求めることについて

賛成

澤本 長俊

浸水リスク等は、そのリスクに対応すべく設計にすればリスク回避できると考える。地元のご理解を得ることが最も難しく重要であり、時間のかかる課題である。宮前坊区の皆様の重大な決断を重く受け止めていただきたい。

反対

石田 哲

新焼却施設用地は安曇川の最狭窄部上流であり、最大流量の流入河川である。度重なる過去の水害の経験から学び、下流全域の安全対策が最重要課題だ。千曲川災害は対岸の火事ではない。教訓を生かすべきだ。

反対

福井 節子

施設整備基本計画も、環境アセスメントも示されず。予定地が、ハザードマップで浸水深5m以上の対象地を含み水害リスクは大きい。開発行為に起因する総合治水影響を判断する県文書もなく、補足資料も専門分析とは言い難い。

反対

高木 広和

滋賀県内で浸水リスクの高さが特筆される場所である。施設の安全対策や下流等の洪水リスクの増大について、専門家の意見を聞いた上、河川管理者である県と協議するなど、慎重に検討を行った上で、土地を購入するべき。

反対

早川 浩徳

本用地は、河川防災で半永久的に水害リスクがあるとされる山と山の狭窄部であり、大量降雨時の水害を防ぐ遊水機能も持つ。大型台風など異常気象の常態化が考えられる中、将来にわたる市民の安全が懸念される。

反対

是永 宙

予定地は大雨の時に限りなく水位が上昇する地形である。8m浸水の対策をしても想定規模を超える水害によって施設に被害が出たり、周辺に影響が起るような事態になれば、市への行政的な責任追及は免れない。

議第99号 高島市まちなみ交流施設の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案

反対

福井 節子

「資料館は現在地で残して」の要望書にも、「説明会を開いて欲しい」の議会請願採択も尊重せず、市主催の市民説明会は行われていない。今後、市民の大切な財産の処分には、十分な説明と議論を尽くし合意形成の努力を。

賛成

早川 浩徳

琵琶湖周航の歌と数々の貴重な資料を守り伝えていくための移転は理解できる。移転後について動きもあると聞いている。資料館の看板を大切に、これまで以上に来館者の多い、魅力ある施設にすることを期待する。